



MATRICE 350 RTK

前進せよ、その先の未来へ

進化したフラッグシップ ドローンプラットフォーム DJI Matrice 350 RTK は、この業界に新たなスタンダードを確立します。この次世代ドローンプラットフォームは、一新された映像伝送システムを採用し、今までにない制御体験を提供します。あらゆるドローン業務に革新を起こし、業務を強力にサポートします。



最大飛行時間
55 分 *1

IP55

保護等級
IP55 *2



DJI O3
Enterprise 伝送



バッテリー充電
サイクル 400 回 *3



ナイトビジョン
FPVカメラ



複数のペイロード構成
に対応

パワフルな飛行性能

堅牢な設計の Matrice 350 RTK は、パワフルな推進システム、向上した保護等級、優れた飛行性能という特長を備え、難易度の高い様々な業務にも難なく対応します。



55 min

最大飛行時間 *1

IP55

保護等級 *2

2.7 kg

最大積載量

7000 m

運用限界高度 (海拔) *4

12 m/s

最大風圧抵抗

-20℃ ~ 50℃

動作環境温度

安定した伝送システム

DJI O3 Enterprise 伝送システムを採用し、3つのチャンネルを使用し、1080p HD ライブ動画 *5 を伝送します。また、最大 8 km *6 先から伝送することができます。機体と送信機共に 4 アンテナ送受信システムを搭載しており、耐干渉性が大幅に向上し、より安定した伝送が実現します。

	O3 Enterprise 映像伝送システム		1080p HD ライブ動画 *5	
	8 km 最大伝送距離 *6	約 6 hours 最大駆動時間 (DJI RC Plus)	4 アンテナ送受信 システム	

*1 無風環境下で、Matrice 350 RTK をペイロードなしの状態、バッテリー残量が 0% になるまで約 8 m/s で飛行し測定。このデータはあくまで参考用です。実際の使用時間については、アプリで表示されるリマインダーにご注意ください。
*2 制御された環境下で測定。保護等級は恒久的なものではなく、経年劣化または損耗により、時間とともに効果が減衰することがあります。*3 電池残量が 90% 以上である累積日数が 12 ヶ月間で 120 日未満の場合、最大 400 サイクルを記録。*4 2112 高地用 低ノイズプロペラを装着して測定した値で、離陸重量は ≤ 7.2 kg です。*5 デュアル制御モードが必要。*6 MIC 準拠の場合 (日本)。FCC 準拠で 20 km。飛行高度約 120 m を飛行している時の測定値です。このデータはあくまで参考用です。飛行中、アプリ上に表示されるリマインダーに注意を払ってください。



対応ペイロード *7

シングル下方ジンバル、デュアル下方ジンバル *8、シングル上方ジンバル *7 といったペイロード装着方法に対応し、E-Port オープン インターフェースを搭載しています。最大積載量 2.7 kg で、機体は最大 3 つのペイロードを同時に積載でき、公共安全や点検、マッピングといった様々な業務シナリオでのニーズを満たします。

Zenmuse H20 レーザー距離計 (LRF) / ズーム / 広角カメラを備えた、ハイブリッドセンサー ソリューション	Zenmuse H20T レーザー距離計 (LRF) / ズーム / 広角 / サーマルカメラを備えた、ハイブリッドセンサーソリューション	Zenmuse P1 フルサイズセンサー、航空写真測量用カメラ	Zenmuse L1 Livox 製の LiDAR モジュール、高精度 IMU、およびマッピングカメラ	サードパーティ製ペイロード 特別なミッション向け

アクセサリー *9



BS65 インテリジェントバッテリーステーション

バッテリーステーションは、最大 8 個のフライトバッテリーと 4 個の送信機バッテリーを管理でき、急速充電できるので、途中で電池切れになることなくミッションを実行できます。



TB65 インテリジェントフライトバッテリー

高性能・高エネルギー バッテリーセルを採用し、充電サイクル回数は最大 400 回 *10 で、1 回の飛行での費用対効果が高くなっています。また、放熱性能と自己発熱システムも進化しています。



DJI RC Plus 送信機

最大輝度 1200 ニットの 7 インチ画面と複数のボタンを搭載し、スムーズな制御体験を提供します。標準の WB37 外部バッテリーが付属し、バッテリーのホットスワップ交換に対応しています。内部バッテリーと外部バッテリーを両方使用すると、最大 6 時間駆動できます。



CSM レーダー

ドローン上部に取り付けることができ、飛行の安全性を確保します。有効検知範囲は 30 m です。*11 このレーダーは、上方、または水平方向 360° の範囲で、認識しにくい障害物をも正確に検知して、適切なタイミングで衝突を回避できます。*12

エコシステム



PAYLOAD SDK

ガス検出器、拡声スピーカー、マルチスペクトルセンサーなど、様々なサードパーティ製のペイロードを統合します。PAYLOAD SDK は、E-Port / Sky-Port V2 / DJI X-Port に対応。ペイロードの開発ライフサイクルは大幅に短縮され、ペイロードの可能性が広がります。



MOBILE SDK

サードパーティ製モバイルアプリケーションの広範なネットワークを使えば、ドローンプラットフォームの能力が拡張され、特別な任務のニーズを満たすことができます。Mobile SDK を利用することで、M350 RTK は、高度にカスタムできるモバイルアプリ開発をサポートします。

*7 別売です。*8 ジンバルコネクターは別売です。*9 このセクションのアクセサリーは、Matrice 300 RTK でも使用することができます。*10 電池残量が 90% 以上である累積日数が 12 ヶ月間で 120 日未満の場合、最大 400 サイクルを記録。*11 検知対象のレーダー反射断面積が 0.4 m² 以上の時に測定。有効検知範囲は、障害物のサイズや素材によって変化する場合があります。*12 DJI Pilot 2 アプリでレーダー障害物回避機能を有効にして、機体安全距離 (> 2.5 m を推奨) はアプリで設定し、飛行速度 10 m/s 未満で飛行してください。

利用用途



測量

Matrice 350 RTK は、ウェイポイント、マッピング、オフリーク、飛行帯ミッションをサポートします。DJI Terra と併用すると、高解像度の 2D や 3D デジタル画像を素早く取得でき、高精度かつ高効率のマッピング業務を実現します。



点検

Matrice 350 RTK は、飛行ルートファイルを生成・保存可能で、いつでも自動化されたオペレーションを実行でき、繰り返しが多い点検作業も簡単かつ効率的に行うことができます。



公共安全

夜間の飛行でも周辺環境や障害物をクリアに表示できる、ナイトビジョン FPV カメラを搭載し、ピンポイント機能を使用すれば、より分かりやすいナビゲーションで安全な飛行が可能になり、遭難救助などにおける夜間の業務も安心して行えます。

スペック^{*13}

機体

サイズ	展開状態: 810 × 670 × 430 mm (プロペラは除く) 折りたたんだ状態: 430 × 420 × 430 mm (プロペラとランディングギアを含む)
対角ホイールベース	895 mm
重量 (シングル下方ジンバル搭載時)	約 3.77 kg (バッテリー非搭載時) 約 6.47 kg (TB65 バッテリー 2 個搭載時)
最大ペイロード (シングルジンバルダンパー)	960 g
最大離陸重量	9.2 kg
動作周波数	2.4000 ~ 2.4835 GHz、5.725 ~ 5.850 GHz (日本国内は 2.4000 ~ 2.4835 GHz のみ利用可)
EIRP	2.4000 ~ 2.4835 GHz: 29.5 dBm (FCC)、18.5 dBm (CE) 18.5 dBm (SRRRC)、18.5 dBm (MIC (日本)) 5.725 ~ 5.850 GHz: 28.5 dBm (FCC)、12.5 dBm (CE)、 28.5 dBm (SRRRC)
ホバリング精度 (GPS あり、P モード)	垂直: ± 0.1 m (ビジョンシステム使用時)、± 0.5 m (GPS 使用時)、± 0.1 m (RTK 使用時) 水平: ± 0.3 m (ビジョンシステム使用時)、± 1.5 m (GPS 使用時)、± 0.1 m (RTK 使用時)
RTK 測位精度	RTK が有効で FIX ステータスの場合: 1 cm + 1 ppm (水平方向)、1.5 cm + 1 ppm (垂直方向)
最大角速度	ピッチ: 300°/s、ヨー: 100°/s
最大ピッチ角	30° (N モード、前方ビジョンシステム有効時: 25°)
最大上昇速度	S モード: 6 m/s、P モード: 5 m/s
最大下降速度 (垂直)	S モード: 5 m/s、P モード: 3 m/s
最大下降速度 (チルト)	S モード: 7 m/s
最大飛行速度	S モード: 23 m/s、P モード: 17 m/s
運用限界高度 (海拔)	5000 m (2110s プロペラ、離陸重量 ≤ 7.4 kg) 7000 m (2112 高地用低ノイズプロペラ、離陸重量 ≤ 7.2 kg)
最大風圧抵抗	12 m/s
最大飛行時間	55 分 ^{*1}
対応する DJI ジンバル	Zenmuse H20 / H20T / H20N / P1 / L1
対応ジンバル構成	シングル下方、シングル上方、デュアル下方
保護等級	IP55
GNSS	GPS+GLONASS+BeiDou+Galileo
動作環境温度	-20°C ~ 50°C

インテリジェント フライトバッテリー TB65

容量	5880 mAh	充電温度範囲 -20°C ~ 40°C (温度が 5°C 未満の場合、自己発熱機能が自動的に有効になります。低温状態での充電は、バッテリーの寿命を短くする恐れがあります)
電圧	44.76 V	
バッテリータイプ	LiPo 12S	充電時間 BS65 インテリジェント バッテリーステーション使用時: 220V 入力: 60 分 (TB65 バッテリー 2 個を完全充電)、 30 分 (TB60 バッテリー 2 個を 20% ~ 90% まで充電)、 110V 入力: 70 分 (TB65 バッテリー 2 個を完全充電)、 40 分 (TB60 バッテリー 2 個を 20% ~ 90% まで充電)
電力	263.2 Wh	
重量 (1 個)	約 1.35 kg	
動作環境温度	-20°C ~ 50°C	
最適な保管環境温度	22°C ~ 30°C	

^{*13} 詳細は DJI ホームページにて最新情報をご確認ください。

送信機

動作周波数	2.4000 ~ 2.4835 GHz、5.725 ~ 5.850 GHz
最大伝送距離 (障害物や電波干渉がない場合)	NCC/FCC: 20 km、CE/MIC (日本): 8 km. SRRRC: 8 km
EIRP	2.4000 ~ 2.4835 GHz: 33 dBm (FCC)、20 dBm (CE)、 18.5 dBm (SRRRC)、18.5 dBm (MIC (日本)) 5.725 ~ 5.850 GHz: 33 dBm (FCC)、14 dBm (CE)、 23 dBm (SRRRC)
外部バッテリー	名称: WB37、インテリジェントバッテリー容量: 4920 mAh、 電圧: 7.6V、タイプ: Li-ion、電力量: 37.39 Wh
内蔵バッテリー	タイプ: 18650 リチウムイオンバッテリー (6500 mAh @ 7.2 V) 充電: 定格 12V / 2A の USB 充電器使用時、定格出力: 17 W 充電時間: 2 時間 (定格 12 V / 2 A の USB 充電器使用時)
バッテリー駆動時間	内蔵バッテリー: 約 3 時間 18 分 内蔵バッテリー + 外部バッテリー: 約 6 時間
動作環境温度	-20°C ~ 50°C

ビジョンシステム

障害物検知範囲	前方/後方/左方/右方: 0.7 ~ 40 m、上方/下方: 0.6 ~ 30 m
FOV	前方/後方/下方: 65° (水平)、50° (垂直) 左方/右方/上方: 75° (水平)、60° (垂直)
動作環境	地表が認識できる模様で、十分な照度条件下 (> 15 lux)

赤外線検知システム

障害物検知範囲	0.1 ~ 8 m
FOV	30° (± 15°)
動作環境	大型で拡散反射する物体 (反射率 > 10%)

上部、底部補助ライト

有効照明距離	5 m
--------	-----

FPV カメラ

解像度	1080 p
FOV	142°
フレームレート	30 fps

インテリジェント バッテリーステーション BS65

サイズ	580 × 358 × 254 mm (長さ×幅×高さ)
重量	約 8.98 kg
最大容量	TB65 インテリジェント フライト バッテリー × 8 WB37 インテリジェント バッテリー × 4
入力	100-120 VAC、50-60 Hz / 220-240 VAC、50-60 Hz
最大入力電力	1070 W
出力電力	100-120V: 750W、220-240V: 992W
動作環境温度	-20°C ~ 40°C

DJI Enterprise について

DJI Enterprise は、新世代ビジネスのために世界トップクラスのドローンソリューションを開発するグローバルチームです。

ドローンソリューションにより、作業者を支援し、業務拡大と作業のデジタル化を推進。農業/インフラ/公共安全部門など、さまざまなビジネスをサポートすることができます。



www.dji.com/jp
jp.enterprise@dji.com



2023 年 7 月

© 2023 DJI JAPAN. 記載されている会社および商品名は、各社の商標または登録商標です。ドローンを飛ばすためには飛行ルールがあります。夜間飛行については、国土交通省が定める飛行ルールを遵守してください。申請が必要なエリアや飛ばし方などの最新の情報は DJI ホームページをご参照ください。製品の構成や仕様は予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。